

「8・6, 8・9」平和学習実践に向けて

多忙な中、教育実践、お疲れ様です。今年も「8・6、8・9原爆投下の日」平和学習の日が近づいてきました。原爆が投下されて74年。「ヒロシマ・ナガサキ」を風化させないため、さらに平和教育の実践を深めていきましょう。

今回は長崎で被爆された山口美代子さんをお招きして、被爆体験のお話を聞いたり、平和教育の実践に役立つ教材や指導案、資料等を紹介したりします。戦後74年が経ち、体験を語ってくださる被爆者の方も少なくなっておられます。この機会に、被爆の実相を追体験されてはいかがでしょうか。職場の皆さんとお誘い合わせの上、是非御参加ください。

I, 講演

「今こそ伝えたい 私の被爆体験」 講師：山口美代子さん

山口 美代子さん

県立長崎高女3年14才の時に被爆。学徒動員で長崎三菱兵器大橋工場で働いていた時、原爆が投下された。その後原爆症で苦しまれる。福岡市在住。現在も学校で被爆体験を話されている。



II, 平和教育実践の交流

～被爆者の思いを子どもたちにどう伝えるか～

○教材・教具や指導案を紹介します。

□ 日時； 2019年6月25日（火）
18：30～20：30

□ 会場； 福岡市教職員組合東部事務所1F
（東区馬出4-2-17）

※問い合わせ：福岡市教育文化研究所事務局



（TEL 631-4646）

□ 主催； 福岡教育文化研究所・平和教育部